

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

カンブルランに想いを託して

桂冠指揮者

シルヴァン・カンブルラン

SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

ドビュッシー：遊戯

DEBUSSY: Jeux

細川俊夫：冥想 —3月11日の津波の犠牲者に捧げる—

HOSOKAWA: Meditation —to the victims of Tsunami 3.11—

ドビュッシー：イベリア (管弦楽のための「映像」から)

DEBUSSY: "Ibéria" from Images pour orchestre

ヴァレーズ：アルカナ

VARÈSE: Arcana

読売日本交響楽団 第599回 定期演奏会

Subscription Concert No. 599

2020 **6.9** 火 19:00 サントリーホール

Tuesday, 9th June 2020, 19:00 Suntory Hall

S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時-18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人アフィニス文化財団 

協力：アブラック



たか 昂ぶる魂と冷めた精神

カンブルランが描くドビュッシーから現代へ

澤谷夏樹(音楽評論家)

カンブルランが帰ってくる。読響は新しい常任指揮者を戴いて、次の時代へと歩みを進めている。聴き手もその道行きを楽しんでいる。でも心のどこかで、カンブルランの音楽を求めてもいよう。それは郷愁などといったやわな思いではなく、もっと生々しい欲求のはずだ。

普段はその生々しさに折り合いをつけて生きている。一歩ひいて分析を試みたり、さしあたり別の場所に置いてみたり。そうしたことで、思いの生々しさに変わりがあるわけではない。ただ、そのように思いを少し客観視することで、日記に書いたりだれかに話したりするときに、どういう気持ちなのかを表現しやすくなる。

カンブルランはそんな聴き手の心に寄り添う演奏会を用意してくれた。

断片を束ねる。相互につながりは乏しい。移り気な情緒の変化はある。それは罪のない熱狂といってよい。ドビュッシーの《遊戯》はそんな音楽だ。移り気な情緒にせよ罪のない熱狂にせよ、オーケストラでそれを表すには、楽器の組み合わせの冷徹な試行錯誤が必要となる。なにせその情緒は、小節単位はおろか拍単位で変化していくのだから。熱狂は客観的に調えられている。

姿こそ《遊戯》とは対照的ながら、同じ作曲家の《イペリア》も同様の路線を歩んでいる。祭りの熱狂に因果などない。その因果のなさを音楽で示すには、やはり冷静な眼差しがものを言う。

細川俊夫の《冥想》はそれを裏面から照射する。この作品は東日本大震災の犠牲者に捧げられた。大太鼓の音の連なりは「宇宙の鼓動」なのだという。自然は宇宙の法則に従いつつ、出来事をふいに起こす。その気まぐれに翻弄される人々。客観と主観とはつねに隣り合わせだ。瞑想は両者の境を紛らわす実践である。

ヴァレーズはパリで《遊戯》を聴いて間もなく渡米した。彼の《アルカナ》はドビュッシーの示したとりとめのなさ、そのとりとめのなさを音楽にここと寄せる手練とを受け継いだ。

カンブルランは作曲家たちの折り合いのつけようを知っている。同時に、演奏家たちに折り合いをつけさせる術も心得ている。そんな場面を我々は何度も体験してきた。あの、昂ぶる魂と冷めた精神とをないまぜにした時間を、また味わいたい。

シルヴァン・カンブルラン 桂冠指揮者

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から9年間、読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得た。19年4月から桂冠指揮者の任にある。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデン・バーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督などを歴任。現在、ハンブルク響の首席指揮者、クラウン・フォーラム・ウィーンの前首席客演指揮者を務めている。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィルなど世界の一流楽団を指揮。17年11月には読響とメシアン「アッシュの聖フランチェスコ」を披露し、サントリー音楽賞に輝くなど絶賛された。

Photo: 常任指揮者としての最終公演を終え、カーテンコールに応えるカンブルラン / 2019年3月24日 第215回日曜マチネシリーズ ©読響

読売日本交響楽団 第599回 定期演奏会

2020年6月9日(火) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017